

2026（令和8）年7月24日

ワクチン接種後の急性散在性脳脊髄炎(ADEM)が疑われる^{*}症例(重篤)

※抽出基準: 症状名が急性散在性脳脊髄炎として報告された症例。

期間	評価	No.	ワクチン名	年齢・性別	基礎疾患等	経過	症状名	転帰	ブライトン分類 レベル	因果関係	専門家の意見
報告 対象 期間 内		1	インフルエンザHAワクチン「KMB」(568B)	77歳・男性	高血圧 メニエール病 良性前立腺肥大症	別紙1p1 参照	急性散在性脳脊髄炎	軽快	2	γ	

別紙 1

医療機関からの副反応疑い報告状況について ワクチン接種後の急性散在性脳脊髄炎(ADEM)が疑われる症例(症例経過)

症例 No.	症例経過
1	2025/11/21 接種前体温:36.3℃、予診票での留意点:なし 10:30 1回目インフルエンザHAワクチン「KMB」(ロット番号568B)接種。 2025/11/29* 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)が発現。 2025/12/02 ミオクローヌス、発熱、意識障害で救急搬送、入院。 2025/12 発現した有害事象に対する治療内容:入院にて、パルス療法を実施。 経過からADEM考慮し、ステロイド治療開始。 2025/12/22 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)は軽快。 現在も入院中だが、医療従事者とのコミュニケーションも取れており、症状は軽快している。 2025/12 症状は、劇的に改善。 現在、ステロイド漸減中。 【ADEM調査票】 《組織病理診断》 ・未実施 《臨床症状》 ・炎症性脱髄が原因と推定される ・初めての事象である(先行するワクチン接種の有無を問わない) ・臨床的に多層性の中樞神経系の障害(事象)である ・発熱により説明できない脳症(意識の変容や行動変化) 以下のいずれかの症状が初めて発現した日(2025年11月29日) ・脳症 ・小脳の機能障害 ・その他(ミオクローヌス) 《画像検査》 検査日:2025年12月02日 ・びまん性または多発性の白質病変が、T2強調画像・拡散強調画像、もしくはFLAIR画像において認められる。 ・大脳白質優位の、びまん性、境界不鮮明で、大きな(>1-2cm)病変を認める。 ・白質のT1低信号病変を認めない。 《疾患の経過》 ・不明 《鑑別診断》 ・不明 《髄液検査》 ・未実施 《自己抗体の検査》

	・未実施 (参考)事務局追記 2025/11/21 接種当日 2025/11/29 接種後8日 2025/12/02 接種後11日
--	---